MASPRO

UHFカラーテナー

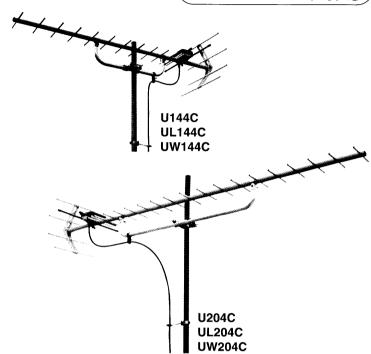
COLOR TENNAS
水平・垂直偏波両用

UHF ch13〜62
U-C

UHF ch13〜44
UL-C

UHF ch30〜62
UW-C

取扱説明書
75・200Ω両用

MAStER of PROduction 生産の覇者

コーナーリフレクター（角型反射器）

コーナーリフレクター付きですから，反射波によるゴースト（二重像）を軽減して，きれいなテレビを見ることができます。

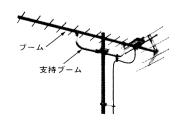
ビームダイポール

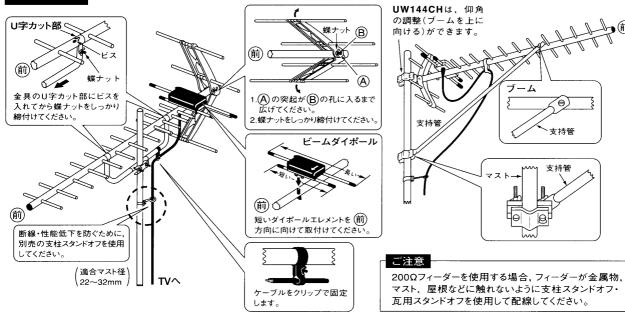
フェイズシフター（位相器）を内蔵したマスプロ独特のビームダイポールは，広帯域にわたって，VSWRが優れています。

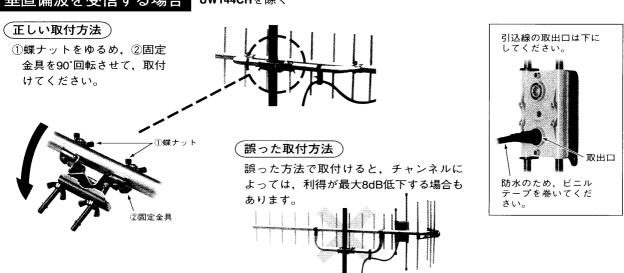
二重ブーム（UW144CHを除く）

ブームと支持ブームの二重ブーム構造で，スタイルがよく，丈夫です。

ワンタッチ！
水平・垂直両用固定金具（UW144CHを除く）

固定金具の蝶ナットをゆるめるだけで，金具が90°回転しますから，金具を取外すことなく，水平・垂直の偏波に合わせることができます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

組立方法

垂直偏波を受信する場合

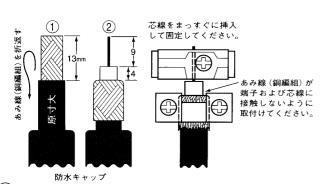
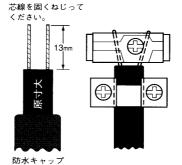
UW144CHを除く

引込線の接続方法

75Ωケーブルの場合　(5Cまたは4C)

防水キャップに通してから，ケーブルの先端を加工してください。

(**3C**は芯線が細く損失も多いため，**5C**または**4C**をお使いください。)

200Ωフィーダーの場合

防水キャップを通してから，フィーダーの先端を加工してください。

⚠注意	アンテナを高所や屋根に設置する場合，技術と経験が必要です。 必ず購入店にご相談ください。

アンテナ取付作業の注意点

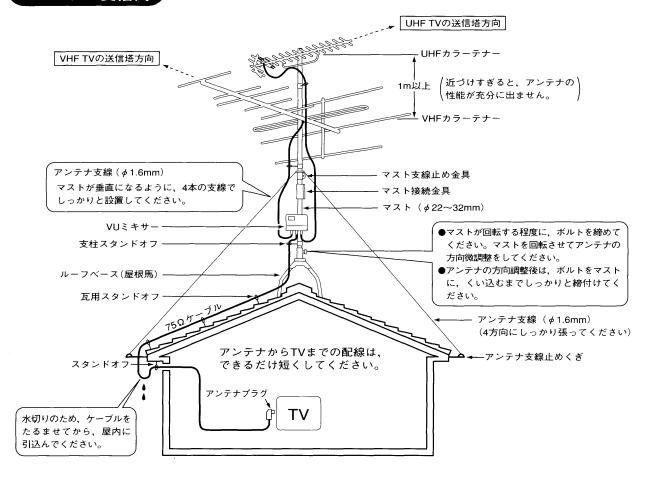
●高所での作業は非常に危険です。ヘルメットをかぶり，万全の対策をしてください。また，屋根に登ると，思ったより高く感じられ，足場も不安定です。滑りにくい運動靴をはいて，充分気をつけて作業してください。

●アンテナの取付け・支線張りなどの作業は，必ず2人以上でおこなってください。

●雨降り・強風のときは非常に危険ですから，絶対に取付作業をしないでください。また，夏の炎天下では，屋根が非常に熱くなっていますから，注意してください。

●アンテナは，感電防止のため，電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた(万が一倒れても電線に触れない)場所に設置してください。

●アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや工具をヒモで結ぶなどの，安全対策をしてから作業してください。

VHF・UHF受信例

アンテナの方向調整

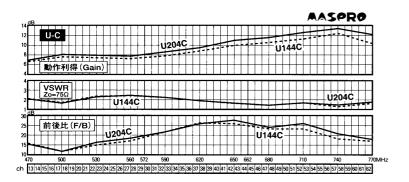
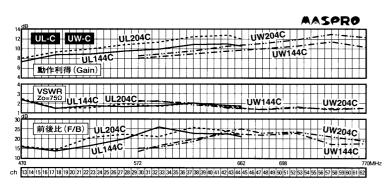
●近くに立っているアンテナの方向を参考にして調整してください。

●ケーブルを配線したら，TVで映像を確認してください。

●ルーフベース（屋根馬）のマストを固定するボルトを，しっかりと締付けてください。

性能

受信チャンネル / エレメント数	ch 13〜62	ch 13〜44	ch 30〜62
14（コーナーリフレクター付き）	U144C	UL144C	UW144C·UW144CH
20（　　〃　　）	U204C	UL204C	UW204C

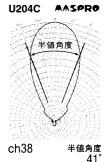
●インピーダンス 75・200 Ω両用

すべてのグラフは、マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものを写真に撮ったものです。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

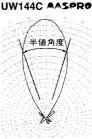
指向性能

指向性は半値角度と前後比で表します。
半値角度が狭いほど
●前方からの反射波によるゴースト（二重像）が軽減できます。
●利得がよくなります。

ch38 半値角度 46°

ch38 半値角度 41°

ch28 半値角度 44°

ch28 半値角度 39°

ch53 半値角度 37°

ch53 半値角度 31°

前後比（F/B）について

前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。
前後比が大きいほど、
●後方からの反射波によるゴースト(二重像)が軽減できます。

VSWRについて

VSWRはインピーダンスの整合の度合を表したものです。
VSWRが3以下（1に近いほどよい）なら、優秀なカラーアンテナといえます。

VSWR	整合損失（利得の低下）
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB （損失）
2	0.5 dB （ 〃 ）
3	1.2 dB （ 〃 ）

MASter of PROduction
生産の覇者

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL 名古屋(052)802-2244
技術相談 〃 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

2K55-256
N-15-4256-1L
MAY, 2001